

NOVA CORP

MX-1250



▶ 製品の特徴

この度は、Nova Corp 社製照明機器 "MX-1250" をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本製品の性能を十分に発揮させ、未永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み頂き、大切に保管して下さい。

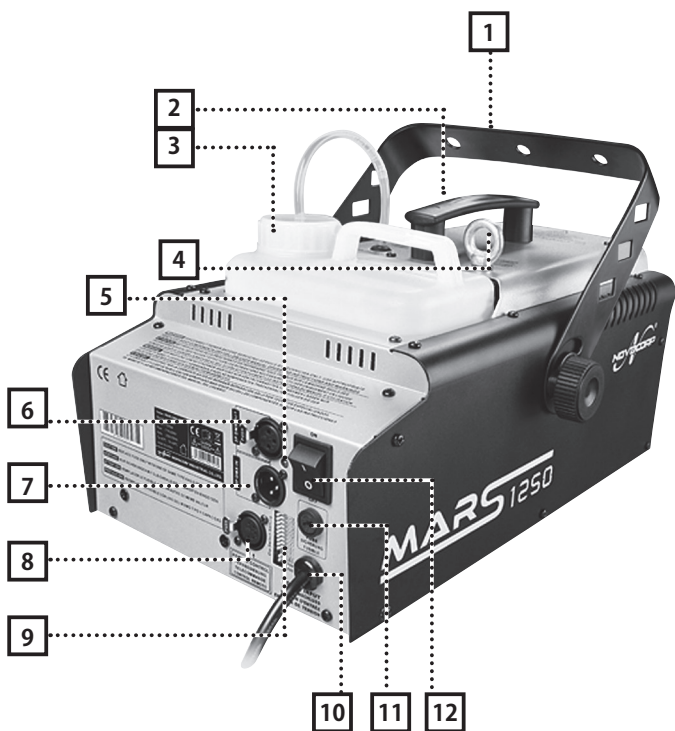
ノバコープ「MX-1250」は1100Wのフォグマシンです。付属の有線リモートコントローラー TC-3mk2 または DMX コントローラーで操作できます。噴霧量は 18,000 cu.ft/min で一般的な 1200w のフォグマシンと同等の出力を持ちます。オイルレベルセンサーを搭載し、オイルが少なくなった際には自動的にポンプへの供給を停止します。アルミダイキャストデザインの高効率ヒーティングモジュールを採用することで目詰まりを防ぎ、機器に異常が発生した場合はタンク下に備えてある LED により警告を発します。これら三重のプロテクト機能により機器へのダメージを減らし安全にご使用頂けます。

製品内容

- 本体
- コントローラー
- 取扱説明書
- 保証書

▶ 各部の名称

- 1 ブラケット
- 2 ハンドル
- 3 リキッドタンク
- 4 セーフティーループ
- 5 インジケータ LED
- 6 DMX 3pin XLR 出力
- 7 DMX 3pin XLR 入力
- 8 コントローラーソケット
- 9 DIP スイッチ
 - FDS1=OFF=DMX 1ch
 - ON=DMX 3ch
 - FDS2= ファンクションなし
- 10 電源入力
- 11 FUSE ホルダ
- 12 電源スイッチ



安全上のご注意

ご使用の前に、かならずよくお読みください。

ここに記載の注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただくためのもので、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然にふせぐためのものです。かならず遵守してください。

この取扱説明書は、使用者がいつでも見ることが出来る場所に保管してください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



電源は必ず交流 100V を使用する。
発電機やステップアップトランスなどは不安定なものがあります。火災や感電のおそれがありますので、使用には充分にご注意ください。



異なる電圧機器を混在しない。
電圧・仕様の異なる機器を混在しないでください。



付属の電源ケーブルは、本機専用です。
付属以外の電源ケーブルは、故障・火災・発熱などの原因となります。
また日本国外で使用する場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



電源ケーブルをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり傷つけたりしない。ケーブルの上に重いものを載せない。
電源ケーブルが破損し、感電や火災の原因になります。

設置



この機器を開けたり、内部部品を分解・改造したりしない。
感電や火災、けが、やけど、または故障の原因となります。
異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の冷却口をふさがないように設置する
ファンなどによる冷却をさまたげないように注意してください。また、高温を発生する場合がありますので、可燃物等からはなして設置してください。

水に注意



この機器の上に、液体のはいたものを置かない。また、浴室や雨天・霧の屋外などの湿気が多い場所で使用しない。
本機は屋内専用です。感電や火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

レーザー



レーザーを使用する場合は
レーザー光を直接見ない。
失明等の原因となる場合があります。

異常に気付いたら



電源ケーブルやプラグが傷んだ場合、または使用中に音が出なくなったり異臭や煙が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器を破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
感電や火災、または故障の原因となります。異常を感じた場合は、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



注意

「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容について記載しています。

電源 / 電源ケーブル



長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、かならずコンセントから電源プラグを抜く。
感電や火災、故障の原因になることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持たずに、かならず電源プラグを持って引き抜く。
電源ケーブルが破損して、感電や火災の原因になります。

設置



この機器を移動するときは、かならず電源ケーブルなどをすべて外した上で行う。
ケーブルを傷めたり、機器の破損や傷害の原因となります。



この機器を電源コンセントの近くに設置する。
電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。長時間使用しない場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。



直射日光のあたる場所、日中の車内やストーブの近くなど、極端に湿度が高くなるところ、逆に湿度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多い場所では使用しない。
機器が変形したり、内部の部品が故障する原因となります。



不安定な場所に置かない。
この機器が点灯して故障したり、傷害につながる場合があります。



スモークマシンなど湿気が多い場所での頻繁な使用は避ける。
反射ミラーの劣化など、故障の原因になります。

使用時の注意



テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しない。
この機器やテレビ、ラジオ等にノイズが発生する場合があります。



この機器のパネルのすきまに手や指を入れない。
けがや傷害につながるおそれがあります。



この機器のパネルのすきまから金属や紙片などの異物を入れない。
感電やショート、火災や故障の原因となることがあります。
異物が入った場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または発売元にご相談ください。



この機器の上に乗ったり重いものを載せたりしない。ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
機器の破損や傷害の原因となります。

※不適切な使用や改造による故障の場合の保証はいたしかねます。

※使用後はかならず電源スイッチを切りましょう。

※電源オン時には、本体パネルや筐体の温度がやや上昇しますが、異常ではありません。気温が高い場合には温度も高くなる場合がありますので、ご注意ください。

※この取扱説明書の写真・イラストは、実際の製品と一部ことなる場合があります。

※この取扱説明書記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。

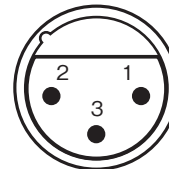
※仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。

端子一覧

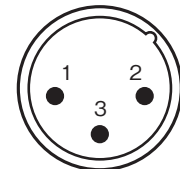
正しい端子・ケーブルをご使用ください。

端子名	極性	タイプ
INPUT, OUTPUT	ピン1: グラウンド (GND) ピン2: コールド (-) ピン3: ホット (+)	XLR

XLR/キヤノンコネクターのDMX用接続

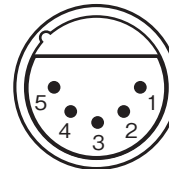


Input (メス)

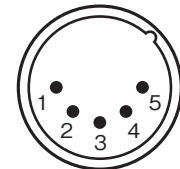


Output (オス)

1 = ground/shield
2 = cold (-)
3 = hot (+)



Input (メス)

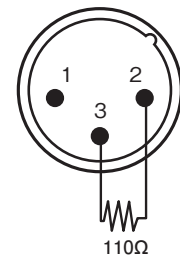


Output (オス)

1 = ground/shield
2 = cold (-)
3 = hot (+)
4 = N/C
5 = N/C

DMX終端抵抗/ターミネーター

2番ピンと3番ピンの間に、
110Ωの抵抗を接続します。



110Ω

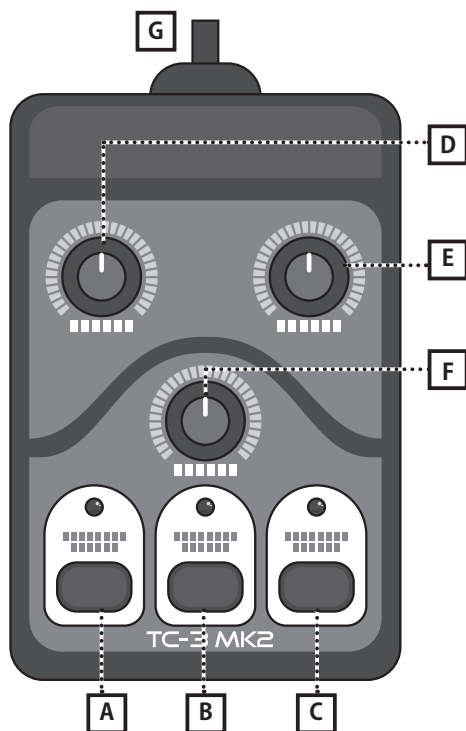
▶ セットアップ

1. 梱包箱から取り出し内容をご確認ください。梱包材を取り除き、水平で安定した平らな場所に設置して下さい。
2. リキッドタンクに専用の水性フォグリキッドを注ぎ、吸い取りチューブを沈めてフタをしてください。
付属の有線コントローラーを本体背面のソケットにしつかりと差し込んで下さい。または DMX コントローラーの出力から本体背面 DMX 入力にケーブルを接続してください。
3. 本体の電源ケーブルを電源に差し込んでください。電源スイッチを入れてから、7 分間のヒートアップ時間を要します。
4. フォグが長時間連続して放出されると、加熱された放出温度が低下してフォグの発生を止めることがあります。時間を置いてヒーターの温度が上昇するとまたフォグを発生させることができます。

▶ 操作

- FDS1 OFF=DMX 1ch
ON=DMX 3ch
- FDS2 ファンクションなし

有線コントローラーからの操作 (DMX DIP1~9 をオフにする)
付属のタイミングコントローラーを使用します。



ファクション	動作
A タイマー ON/OFF	ボタンを押すとインターバル出力のタイマーがオンになり、上の赤い LED が消灯します
B 連続フォグ	ボタンを押すと連続してフォグを出力し、上部の赤い LED が点灯します
C マニュアルフォグ	ボタンを押すと手動でフォグをコントロールします。ウォームアップが完了すると上の緑 LED が点灯します。
D デュレーション	0.5 秒 ~ 10 秒 ± 1 秒
E インターバル	3 秒 ~ 255 秒 ± 1 秒
F ボリューム	10% ~ 100%
G 1/4" ジャック	ケーブル長 8m

DMX コントローラからの操作 (DMX DIP 1~9 を ON にする)
DMX DIP スイッチ 1-9 を使用して、目的の DMX512 アドレスにユニットを設定します。

[1.]DMX 512 コントローラケーブルをフォグマシンの入力ソケットに接続します。

信号ケーブルの極性が正しいことを確認してください。電源を接続します。フォグマシンはあなたの DMX コントローラで動作可能な状態になります。

[2.] 必要に応じて別のフォグマシンを接続してください。

別の信号ケーブルの一端を 1 台目のフォグマシンの出力ソケットに差し込み、信号ケーブルのもう一方を 2 台目のフォグマシンの入力ソケットに差し込みます。必要に応じて、より多くのフォグマシンをリンクするために同じ手順に従ってください。

SPEC:: TC3-mk2	
ケーブル長	8M
エフェクト	なし
コネクタ	1/4" ステレオジャック
ファクション	1. ボリューム・インターバル・デュレーション・タイマー 2. 連続出力 3. 手動 ON/OFF
寸法・重量	123x66x35 mm 375g

DMX チャート

DMX CH1 MODE		
DMX 値	ファンクション	
000-004	フォグ出力 OFF	
005-255	フォグ出力 10~100%	
DMX CH3 MODE		
CH	DMX 値	ファンクション
CH1	000-004	フォグ出力 OFF
	005-255	フォグ出力 10~100%
CH2	000-255	インターバル 10 秒 ~250 秒
CH3	000-255	デュレーション 1 秒 ~10 秒

マスター / スレーブ

[1] マスターの設定

このモードでは、DMX DIP スイッチ 1-9 をオフに設定して、出力モードを DMX にして、マスターの動作に従うように接続された他のフォグマシンを制御します。

[2] スレーブの設定

直列に接続した後、すべてのスレーブフォグマシンの DMX アドレスを "1" に設定し、FDS1 をオフに設定します（チャンネル数は 1 チャンネルに設定されます）

[3]

マスター / スレーブ用に TC3mk2 を使用できるようになりました。

重要

重要

DMX ディップ 1-9 のいずれかがマスターフォグマシンの場合は "オン" になり、DMX モードに切り替わり、外部 DMX 制御信号を受信する場合にのみ、マスター / スレーブ制御 TC3mk2 を停止します。

マスタースレーブ制御では、マスターフォグマシンとして 1 つのフォグマシンしか設定できません。他のスレーブフォグマシンのいずれに対しても、DMX ディップ 1-9 をオフに設定することはできません。

高出力、大きなワットのフォグマシンとして、MX1250 を安定した場所に配置することをお勧めします。特別な必要性のために傾ける場合には、15 度以内の傾斜で本体を完全に固定してください。

注意

MX1250 を差し込むと、タンク底面の赤色の LED が点灯し、電源がオンになっていることを示します。点灯していない場合は電源が正しいか点検してください。ウォームアップが完了すると、タンクの底部の下に緑色のライトが点灯します。

さらに、MX1250 はリキッド残量センサーを搭載しています。ウォームアップ中（赤色の点灯）またはウォームアップ完了（緑色の LED が点灯）に関わらず、液体量が低レベルに低下した場合でも、タンクの底に導かれて自動的に点滅して残りのリキッドを温めます。ポンプは同時に停止します。動作中は十分なフォグリキッドを満たしていることに注意してください。

ローフォグが発生した場合、動作音が激しい場合、フォグがトラブルにより発生しない場合、すぐに電源を切りプラグを抜いてください。十分なフォグリキッドを満たされているか、またはヒューズが外れていないか、コントローラーの接続と電源が不適切でないか、プラグ再度接続しても異常な動作が続くかどうかをチェックしてください。

原因が不明な場合は、損傷を避けるために動作を停止し、停止して冷却し、購入された販売店またはサービス事業者に点検修理を依頼してください。自主的な分解修理は危険ですので控えて下さい。

▶ トラブルシューティング

このトラブルシューティングガイドは、簡単な問題を解決するためのものです。

問題が発生した場合は、解決策が見つかるまで、以下の手順を順番に実行してください。

ユニットが正しく動作したら、以下の手順を実行しないでください。問題が解決しない場合は、資格のある技術者にサービスを依頼してください。

電源は接続されているが、フォグが出力されない場合

1. 電源を確認してください。適切な電圧で接地された電力供給ソケットにユニットを接続してください。
2. コントローラ接続を確認してください
3. DMX アドレスの設定を確認してください
4. フォグマシンの電源を OFF にして、フューズを同じタイプのものに交換してください。

▶ お手入れ

保守を行う前に、電源が切断されていること、電源コードが抜かれていることを確認してください。

有資格者がメンテナンスを行う必要があります。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 フォグリキッドは汚れてはいけません。常にリキッドタンクのキャップを清掃または交換し、リキッド充填直後にフォグマシンのリキッドタンクのカバーを締めてください。 2 長時間使用すると不純物が混入する可能性があります。一定時間毎に洗浄のためにノズルを分解・清掃してその流動性を保ってください。 3 オイルチューブ、ポンプ、ヒーターの接続を定期的にチェックし、オイルが漏れていないかどうかを確認してください。 | <ol style="list-style-type: none"> 4 PC ボードは油で汚れないように注意してください。汚れている場合は、慎重にポンプを解体し、希薄アルコールできれいにしてください。アルコールや水分を充分乾燥させてから元に戻してください。 5 すべてのワイヤが正しく接続されていることを確認してください。 6 ボディーの金属カバーは乾いた布できれい拭き上げてください。 |
|--|---|



MX-1250 スペック

- 電源：AC100V 50/60Hz
- 消費電力：1200w
- ヒーター：1100w
- 消費量：113ml/分
- 出力：18,000 cu.ft/分
- ヒートタイム：7分
- タンク容量：2L
- DMX：1 ch / 3 ch XLR3 ピン
- 寸法：L418 x W220 x H209 mm
- 重量：7.5kg
- 付属：TC3mk2 有線コントローラー

この取扱説明書は、IDE コーポレーション有限会社が制作しています。
発売元：IDE コーポレーション有限会社 〒530-0015 大阪府北区中崎西 1-1-24